



ROTARIANS
UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリー
奉仕に結束
平和に献身



会長 吉野 勲 幹事 板垣広志 クラブ奉仕 高橋良士 職業奉仕 飯野準治 社会奉仕 佐藤元伸 国際奉仕 阿蘇司朗 青少年奉仕 菅原辰吉

出席報告：会員 81 名 出席 71 名 出席率 92.54% 前回出席率 86.57% 修正出席 75 名 確定出席率 89.55%

会 長 年 頭 の 辞

吉 野 勲 君

新年あけましておめでとうございます。

ご家族の皆様もお揃いで佳きお年をお迎えになられた事とお喜び申し上げます。

初例会に当り一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は年度早々台湾高雄 R.A.C の訪日に始まり、毎月のように地区の集り、又、庄内分区内の周年行事並びに新クラブ結成と相次ぎました。その間、会員増強もこの年度 4 名の方々の入会を頂き、又、12 月には「山響 X'mas コンサート in ツルオカ」を開催。1,000 名を超える盛況にはさすがに鶴岡クラブの面目躍如なるものがありました。市民に大きな、すばらしいクリスマスプレゼントが出来たと同時に、ロータリークラブの広報にも大きな効果があり、意義ある大きな事業ではなかったかと思われま

す。クリスマス家族会も 150 名の出席を頂き盛会裡に終る事が出来ました。高田耕助君のポール ハリス フェローの誕生とおめでたい事が続きましたが、飯白君の急死は大きな痛手であったと思います。

後半も何かと行事が出て来ようかと思われま

すが、なんとか頑張って努めさせて頂きたく存じます。今年には天にも昇る龍年でございます。新聞、その他報道では景気も明るいと予想する企業が増えているとのことですので、なんとかこの一年、皆様共々健康でご自分のお仕事のより一層のご発展をお願いし、新年のごあいさつに替えさせていただきます。

尚、本日は SAA さんのお取り計いで、庄内神社でご祈禱して頂いたご神酒を用意いたしました。

会 長 報 告

吉 野 勲 君

1. 本日開催の理事会の決定事項を報告いたします。
 - 飯白さんからの香典返しはスマイル会計に繰入れする事に決定いたしました。
 - 恒例の鱈汁会は 2 月 2 日 (火)、オークションを含めまして親睦委員会・社会奉仕委員会で行なう事となりました。詳細は後報します。
 - 山響 X'mas コンサート決算報告が承認されました。社会奉仕会計より 20 万円、会員諸氏からの広告収入 50 万円、計 70 万円を山響さん並びに庄内日報さんへお支払い致しました。
2. 先頃実施いたしました昼食に関するアンケート

の結果に基づき、本日会長・幹事及び SAA 委員長の 3 名がエルサン早坂社長宛、種々申し入れを行なう事といたします。

3. 富士印刷嶺岸社長より奉仕の理想の貯金箱を、張紹淵君を通じお届けいただきました。嶺岸さん
4. 恒例によりまして、エルサンの社員の方にお年玉を差し上げます。(贈呈・拍手)

幹 事 報 告

板 垣 広 志 君

- 年賀状到着 18 通

庄内空港の建設を推進しましょう

- 会報到着 鹿兒島西R.C
- 後期分会費 70,000 円を 1 月 26 日例会日迄に納入下さい。
- 東北電力杉澤君より手帳・カレンダープレゼントをいただきましたので、お持ち帰り下さい。杉澤君ありがとうございます。(拍手)
- 張紹淵君よりロータリー財団へ多額の基金をいただきました。ありがとうございます。(拍手)
- 年男記念品プレゼント
 - 大正 5 年生れ 佐藤順治君・菅原辰吉君
内山喜一君
 - 昭和 3 年生れ 飯野順治君・諸橋政楨君
秋野昭三君
 - 昭和 15 年生れ 若生恒吉君

委員会報告

出席委員会

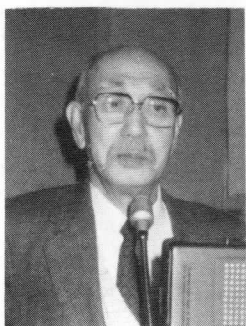
佐藤順治君

- 年間皆出席
 - 28 年間皆出席 張 紹淵君
 - 8 " 阿蘇司朗君
 - 2 " 布施隆夫君
 - 1 " 毛呂健士君
- 12 月 100% 以上出席 4 名
 - 180% 張 紹淵君

プログラム委員会

年男辰年を大いに語る

佐藤順治君



竜に関係のある言葉、諺は沢山あります。
龍虎相搏つ…力量の伯仲した 2 人強者がいて、互いに争っている様をさす。
登龍門…中国黄河上流の龍門を登った鯉は龍になるという伝説から。

龍は一寸にして昇天の気あり…すぐれている者は、

120% 板垣広志君・中江 亮君
若生恒吉君

- 12 月 100% 出席 48 名
 - 阿蘇・藤川・布施・早坂・平出・石井・石川・石黒・市川・飯野・黒谷・小池・小松・三井(賢)毛呂・迎田・諸橋・松田・中野・中沢・斎藤(隆)佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・荘司・関原庄司・佐々木・斎藤(昭)・高橋・丹下・鈴木(肇)高田・塚原・忠鉢・碓氷・山口・吉野・笹原(信)杉澤・秋野(昭)・日向・皆川

親睦活動委員会

丹下誠四郎 君

- 1 月会員誕生
 - 玉城 俊一君・板垣 俊次君
吉野 勲君・三井 健君
荘司 俊治君・忠鉢 徹君
- 1 月奥様誕生
 - 毛呂 幸子様・鈴木 勝様
津田 満里子様・庄司志津子様
村中和 枝様
- 鱈汁会のご案内
 - 2 月 2 日(火) 予定いただくと共に、オークションの品物 2,000 円相当、あるいは現金をご用意下さい。詳細は文書でご案内いたします。

小さい時から普通の者とは違った所がある。
画龍点睛…画龍点睛を欠く。睛は龍の目玉、よく出来ているが、最後の詰めが甘い様子。
龍頭蛇尾…始めは盛んだが、あとになってしりつぼみになってしまうたとえ。
臥龍鳳雛…地にもぐっている龍。まだ雛のうちの鳳凰。まだ世に出ていない優れた人物。
逆鱗にふれる…竜の喉の下にある逆さの鱗に触れるな、の伝説から、君主を怒らせること。

又、龍の彫刻や絵画は国内は言うに及ばず、中国、台湾等に非常に多く見受けられる様であります。その効用は農耕に大切な雨を降らせる神であり、又海の豊漁と航海の無事を祈る神として有名であります。善宝寺の龍神様は正にその最たるものであり、遠く北海道の漁業関係者の寄附などを見ても、その効果が如何に大きいのか窺える様な気が致します。

更にもう一つ、東京の下町、人形町にある水天宮様に行くと、かたわらに金属製の竜の口から、清い水がチヨロチヨロ流れ出ている場所があり、この水で喉をうがいすると、美声を保てると言われていたそうです。長唄の師匠、歌手、芸人らが竜の水でうがいをして、更に水筒にも入れたりして持ち帰るそうです。

以上、龍にまつわる色々なことを申し上げましたが、龍とは一体なんだろうということですが、これは皆さんご存知の通り実在しない想像の動物であり、又、理想の動物と言われますが、強いものに憧れる夢を托した願望の姿ではないでしょうか。

ところで、この龍が辰として十二支の中に入っているのはどういうことでしょうか、私には分かりません。よく人は生れ年の十二支の動物に性格が似てい

ると言われていますが、ほんとうでしょうか。

辰（龍）を除いては皆実在の動物でありますから、その性質は判りますが、辰（龍）に至っては、その性質を知る術がありません。如何んとも判じ難きは龍であると私は申し上げたい。

さて、この十二支を別の観点から眺めてみますと十二支の字が実在の動物の名前と全く別の字であることに気がつくでしょう。これは昔、方角と時刻を表わす指針になっているのだそうであります。辰の方角は南東東であり、時刻は昔は五ツ、今の時刻で言えば午前8時頃となっております。動物の字はあて字のようです。この様に考えていくと、十二支の動物と年男の性格がよく似ているということは眉唾物ではないかと思われま。

最後に申し上げたいことは、年男と年男でない人は何等変りがないということです。若し違っている処があるとすれば、毎年年男は皆さんの前でこの様にお話をする様要請されることであると思ひます。

又、元日のテレビでフィリピンからの放送で、フィリピンでは辰年生まれの人頭が良い、子供を生むなら辰年に合わせて生むそうです。私自身も信じたいと思ひます。

菅原辰吉君



私は辰^つという言葉には非常に劣等感を持っておりました。落語などで“辰^つあんな”“熊さん”と出てきます。そして、「ナーンダ辰^つ吉か」と言われるから、誠に情ない感じです。ですが私の柔道の先生が「辰はシンとも読むんだよ」と言い“スガワラシンキチ”と大声で呼んでくれました。先生とはありがたいものだとの時から思っております。

ところで、辰について調べてまいりましたのでお話してみたいと思ひます。

“辰”十二支の第五位、方位では東南を表し、時では午前8時、9時、月では陰曆3月に配する（新

字鑑）

日本書記では竜を<たつ>と呼んでいる。日本では竜を胴はへびに、角はシカに、目は鬼に、耳は牛にそれぞれ類似した巨大は虫類として描かれ、足は4足、体には剛鱗をもつという。中国思想の影響もあって祥瑞、即ちめでたいしるしとする信仰もみられる。竜の神が海^つ宮^{のみや}にあり、竜となる神が海神の女^{むすめ}であったと述べているのは注目すべき点である。海神としての竜神信仰は海^{うみ}人^{びと}の集団の間で長く持ち続けられた。竜蛇信仰に関連する神話・伝説は決して少なくない。水田耕作や農耕儀礼に結びついて、竜神が雲や雨水を司る神として信仰されたことは、民間信仰の水神に竜神をまつるものが多く、桓武朝に平安京に造営された神泉苑^{しんせんえん}では、竜王をまつって雨ごいを行なっているが、雨ごいと竜蛇信仰が

密教を媒介としながら貴族間にも継承された例である。

広辞苑によれば竜は海中または池、沼中にすみ、神秘力を有するという想像上の動物で、姿は巨大な爬虫類で、胴は蛇に似て剛鱗をもち、四足、角は鹿に、眼は鬼に、耳は牛に似、地上では深淵、海中に潜み、時には自由に空中を飛翔して雲を起こし、雨



年男と言われて、今更という感が深かったのですが、考えてみますと、これまで節目と思える事が二つ程数えられます。

その一つ、昭和15年5月無事帰国、即除隊致しました。当時は東京に居りましたので、無事社会復帰のお礼を、成田不動尊へお礼

を呼ぶという。インドでは仏法を守護した説話が多く、普通毒蛇、コブラの形で表現され、竜王はその威力を神格化したもの、我国では竜神といわれる。

竜は一寸にして昇天の気ありといわれ、我々はその勢いで今年は大豊作と商売繁昌、皆様の大発展と幸福をお祈り申し上げます。

内 山 喜 一 君

参りを致しまして、以来年3回、1月、5月、9月をお参りの月と決めて参りました。今年を含めて3年後の昭和65年は、通算満50年、半世紀という事になります。

二つめは、昭和25年7月書店を開業致しました。同じく昭和65年は創業満40年となります。3年後のこの節目に向って、年男の今年をステップの年と秘かに考えておる次第です。年男の夢としてお聞き頂ければ幸いと存じます。

ス マ イ ル

塚原初男君 会員の皆さんより早々に賀状を頂戴いたしまして、スマイルをもってご返事に替えさせていただきます。平にご容謝下さい。

板垣広志君 入会13年余りにして、始めて出席率100%超で名前を呼ばれました。

丹下誠四郎君 似合うメガネに替えた事と、今後とも皆様にスマイル協力をお願いして。

ビ ジ タ ー

鶴岡東R.C 上野朝重君

